

令和 6 年度 歳入歳出決算補充説明書

警 察 本 部

令和6年度一般会計歳入歳出決算について御説明いたします。

(歳入について)

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	86億8,225万1,000円
調定額	86億8,248万435円
収入済額	86億5,116万4,531円
不納欠損額	75万6,000円
収入未済額	3,055万9,904円

となりました。

(歳出について)

警察費の歳出決算額は、

予算現額	462億4,537万9,000円
支出済額	458億4,728万2,182円
翌年度繰越額	1億8,716万8,000円
不用額	2億1,092万8,818円

となりました。

以下、「令和6年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明します。

まず、歳入決算についてです。

48頁の第8款 使用料及び手数料、第1項 使用料、第1目 総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	357万7,000円
調定額	358万4,430円
収入済額	358万4,430円

で、収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用料です。

66頁の第2項 手数料、第8目 警察手数料は、

予算現額	17億2,041万7,000円
調定額	17億4万6,900円
収入済額	17億4万6,900円

で、収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料、更新時講習等手数料、道路使用許可申請手数料です。

104頁の第9款 国庫支出金、第2項 国庫補助金、第9目 警察費補助金は、

予算現額 9億3,288万8,000円

調定額 9億5,462万9,000円

収入済額 9億5,462万9,000円 で、

収入済額は、全て警察庁からの警察費補助金です。

120頁の第10款 財産収入、第1項 財産運用収入、第1目 財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額 6,845万9,000円

調定額 6,854万2,718円

収入済額 6,854万2,718円 で、

収入済額の主なものは、警察職員住宅に係る家屋貸下料です。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額 1,094万円

調定額 1,174万5,959円

収入済額 1,174万5,959円 で、

収入済額の主なものは、不用物品の売払収入です。

128頁の第12款 繰入金、第2項 基金繰入金、第1目 基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額 5,432万5,000円

調定額 4,820万6,553円

収入済額 4,820万6,553円 で、

収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金です。

130頁の第13款 繰越金、第1項 繰越金、第1目 繰越金のうち警察本部関係は、

予算現額 1億2,741万2,000円

調定額 1億2,741万2,000円

収入済額 1億2,741万2,000円 で、

収入済額は、令和5年度から令和6年度に繰り越した事業に充当したものです。

132頁の第14款 諸収入、第1項 延滞金、加算金及び過料等、第1目 延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	1万円
調定額	6,500円
収入済額	6,500円

で、

収入済額の全てが、放置違反金の延滞金です。

第3目 過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	2,693万3,000円
調定額	2,327万円
収入済額	2,290万2,000円
収入未済額	36万8,000円

で、

収入済額の全てが、放置違反金です。

なお、収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

142頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億8,212万8,000円
調定額	1億8,671万2,806円
収入済額	1億8,667万3,421円
収入未済額	3万9,385円

で、

収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料です。

なお、収入未済額は、自動販売機等光熱水費負担金の滞納によるものです。

146頁の第3目 過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	117万6,000円
調定額	2,676万5,975円
収入済額	118万2,456円
不納欠損額	75万6,000円
収入未済額	2,482万7,519円

で、

収入済額の主なものは、過年度の放置違反金、交通事故損害賠償金です。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、弁償金及び放置違反金の滞納によるものです。

第5目 弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	398万6,000円
調定額	1,355万7,594円
収入済額	823万2,594円
収入未済額	532万5,000円で、

収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金です。

なお、収入未済額は、交通事故による損害賠償金の滞納によるものです。

168頁の第15款 県債、第1項 県債、第8目 警察債は、

予算現額	55億5,000万円
調定額	55億1,800万円
収入済額	55億1,800万円 で、

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当です。

収入済額が予算現額に比べ、3,200万円の減収となりましたが、これは、充当事業で翌年度繰越が生じたほか、充当事業で減額が生じたことによるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明しました。

なお、未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者には、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明します。

第9款 警察費のうち、434頁の第1項 警察管理費、第1目 公安委員会費は、

予算現額	647万6,000円
支出済額	613万1,491円
不用額	34万4,509円 で、

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費です。

第2目 警察本部費は、

予算現額	350億2,484万8,000円
支出済額	349億4,892万1,383円
不用額	7,592万6,617円 で、

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、施設運営などに要した経費です。

不用額の主なものは、給与費における職員手当、施設等運営費における庁舎の光熱水費の執行残などです。

4 3 6 頁の第 3 目 装備費は、

予算現額	9 億 7, 8 9 4 万 5, 0 0 0 円
支出済額	9 億 5, 6 5 6 万 3, 1 9 1 円
不用額	2, 2 3 8 万 1, 8 0 9 円 で、

支出済額の主なものは、警察活動車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費です。

不用額の主なものは、警察車両用燃料費、修繕料の執行残などです。

4 3 8 頁の第 4 目 警察施設費は、

予算現額	3 9 億 9, 3 7 2 万 6, 0 0 0 円
支出済額	3 9 億 6, 8 8 1 万 5, 6 4 8 円
翌年度繰越額	5 6 0 万 4, 0 0 0 円
不用額	1, 9 3 0 万 6, 3 5 2 円 で、

支出済額の主なものは、警察署の建替及び改修工事、駐在所建築工事などに要した経費です。

翌年度繰越額は鳥羽警察署鳥羽駅前交番の建築工事費で、不用額の主なものは警察署の建替及び改修に係る工事費等の入札差金などです。

同じく 4 3 8 頁の第 5 目 運転免許費は、

予算現額	1 0 億 3, 8 1 6 万 1, 0 0 0 円
支出済額	1 0 億 2, 4 1 6 万 2, 5 8 2 円
不用額	1, 3 9 9 万 8, 4 1 8 円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費です。

不用額の主なものは、更新時講習委託料の執行残などです。

4 4 0 頁の第 6 目 恩給及び退職年金費は、

予算現額	1, 4 1 9 万 3, 0 0 0 円
支出済額	1, 3 5 7 万 7, 4 8 5 円
不用額	6 1 万 5, 5 1 5 円 で、

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費です。

次に、４４２頁の第２項 警察活動費、第１目 一般警察活動費は、

予算現額 ３億４，７５７万５，０００円

支出済額 ３億３，４１４万３，０３５円

不用額 １，３４３万１，９６５円 で、

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話や留置施設の維持管理等に要した経費です。

不用額の主なものは、旅費や複写機使用料の執行残などです。

第２目 刑事警察費は、

予算現額 １１億７，７６９万４，０００円

支出済額 ９億７，５４８万２，４６４円

翌年度繰越額 １億８，１５６万４，０００円

不用額 ２，０６４万７，５３６円 で、

支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の早期検挙、暴力団排除活動、テロ対策など各種対策の推進に要した経費です。

翌年度繰越額は、生活安全警察活動費における街頭防犯カメラシステム整備及びターゲティング広告の経費並びに災害警備対策費における災害対策用車両整備の経費です。

不用額の主なものは、捜査関係の報償費の執行残などです。

４４４頁の第３目 交通指導取締費は、

予算現額 ４億２，８５７万８，０００円

支出済額 ４億１，３０７万８，９９４円

不用額 １，５４９万９，００６円 で、

支出済額は、交通指導取締り、交通事故・事件の捜査、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費です。

不用額の主なものは、交通環境整備事業における各種業務委託料の執行残です。

４４６頁の第４目 交通安全施設整備費は、

予算現額 ３２億３，５１８万３，０００円

支出済額 ３２億 ６４０万５，９０９円

不用額 ２，８７７万７，０９１円 で、

支出済額は、交通管制センターの維持、交通信号機や道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費です。

不用額の主なものは、交通安全施設維持管理費における交通信号機電気料金、交通管制センター回線使用料の執行残などです。

以上、警察本部関係の令和６年度歳入歳出決算について御説明しました。

令和6年度歳入歳出決算(警察本部関係)

【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	1,723,994,000	1,703,631,330	1,703,631,330			△ 20,362,670
国庫支出金	932,888,000	954,629,000	954,629,000			21,741,000
財産収入	79,399,000	80,288,677	80,288,677			889,677
繰入金	54,325,000	48,206,553	48,206,553			△ 6,118,447
繰越金	127,412,000	127,412,000	127,412,000			
諸収入	214,233,000	250,312,875	218,996,971	756,000	30,559,904	4,763,971
県債	5,550,000,000	5,518,000,000	5,518,000,000			△ 32,000,000
合 計	8,682,251,000	8,682,480,435	8,651,164,531	756,000	30,559,904	△ 31,086,469

【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額、繰越額の内容)
警察管理費	41,056,349,000	40,918,171,780	5,604,000	132,573,220	
公安委員会費	6,476,000	6,131,491		344,509	
警察本部費	35,024,848,000	34,948,921,383		75,926,617	・職員手当等人件費の執行残 ・庁舎光熱水費の執行残
装備費	978,945,000	956,563,191		22,381,809	・警察活動車両用燃料費、修繕料の執行残
警察施設費	3,993,726,000	3,968,815,648	5,604,000	19,306,352	・鳥羽駅前交番建築工事費の繰越 ・大台警察署建替事業、尾鷲警察署大規模改修事業に係る執行残
運転免許費	1,038,161,000	1,024,162,582		13,998,418	・更新時講習委託料の執行残
恩給及び退職年金費	14,193,000	13,577,485		615,515	
警察活動費	5,189,030,000	4,929,110,402	181,564,000	78,355,598	
一般警察活動費	347,575,000	334,143,035		13,431,965	・旅費、複写機使用料の執行残
刑事警察費	1,177,694,000	975,482,464	181,564,000	20,647,536	・街頭防犯カメラの設置及びターゲティング広告の繰越 ・災害活動用四輪駆動車購入費の繰越 ・刑事事件捜査に伴う通訳謝金等報償費の執行残
交通指導取締費	428,578,000	413,078,994		15,499,006	・自動車保管場所証明関係委託料の執行残
交通安全施設整備費	3,235,183,000	3,206,405,909		28,777,091	・交通信号機等電気料、交通管制センター回線使用料の執行残
警察費合計	46,245,379,000	45,847,282,182	187,168,000	210,928,818	